

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	除雪作業を実施する際に、ミッションがドライブの状態のまま消防車両から下車したため、無人のまま車両が進行し、交通事故に繋がる虞があった事例。
3. 体験した事例の中心的要素	除雪作業を実施するため、作業場所付近に消防車両(AT式救急車)を停車した際に、ミッションをパーキングに入れ忘れドライブ状態のまま下車したため、そのまま無人の状態ですら2～3m程車両が進行した。事態を把握した車両長が車両に飛び乗りブレーキをかけ停車、周囲に通行人はいなかったが建物等があり、交通事故発生に繋がる虞があった。
4. 体験した事例の原因・理由	車両のミッションをパーキングに入れたと勘違いし、確認を怠り下車してしまった。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成24年12月11日 午後2時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：幅員約5mの町道沿いに設置された防火水槽付近。
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	その他:、[][]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：大雪により水利確保のための除雪作業
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[21]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[3] 年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[45]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[20] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 []、任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A 当事者B	除雪作業のため救急車に乗車、作業場所に到着	他隊員1名は小型ホイールローダーにて後続
経過2	当事者B	車両停車場所の指示後に下車	
経過3	当事者A	車両のミッションをドライブのまま下車、車両が無人のまま発進、走行	2～3m進行
経過4	当事者B	走行状態(時速5km未満)の車両に乗り込みブレーキを踏み停車	
経過5	当事者A 当事者B	周囲及び車両の状況を確認、異常なし	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

● ●

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。周囲の視界が確保できていた。指揮者が適切に指示した。たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ
b. 注意力が欠如していた	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

A T車の利便性に慣れ操作手順を誤り、停車＝パーキングの固定観念を抱き安全確認を怠った。
--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

状況図

ミッションをパーキングに入れないで停車し、そのまま下車。ドライブ状態の車両は無人のまま2〜3m進行、車両長が事態に気づき、車両に乗り込みブレーキを作動させ停車させる。

